

カナダの金融市場動向 Weekly Report

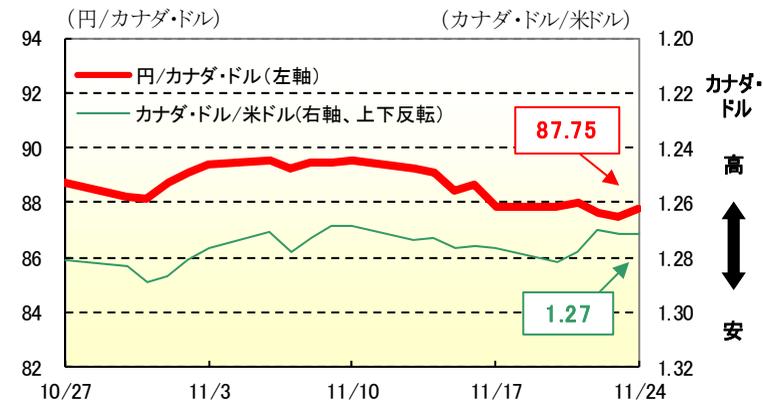
【2017年11月18日～2017年11月24日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週はカナダで小売売上高が発表され、自動車や服飾品が不調であったことから市場予想よりも低い伸びとなったことなどを背景に、カナダの金利は低下し、カナダ・ドル円は下落しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年10月27日～2017年11月24日)



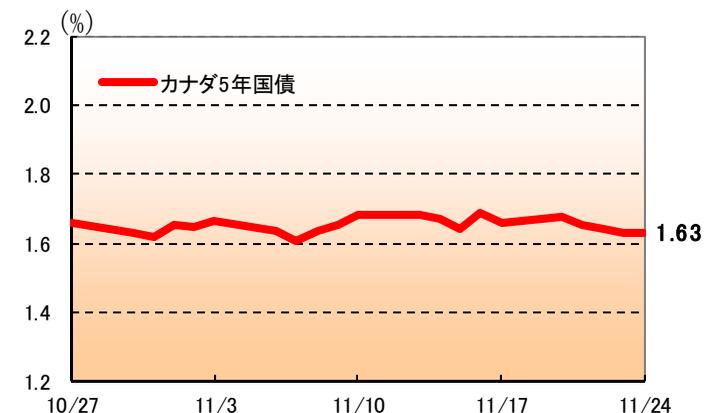
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

足元、原油価格は多少の調整を交えつつも堅調を維持しており、世界有数の産油国であるカナダの通貨下支え要因になると考えています。今週はGDP(国内総生産)や雇用統計が発表される予定です。予想以上の堅調な結果となり、市場の利上げ期待が高まれば、金利やカナダ・ドルの上昇要因になるとみられています。

また、メキシコで開催されていたNAFTA(北米自由貿易協定)再交渉の会合が先週終了しました。米国、カナダ、メキシコの3カ国は会合終了後、一定の進展が得られたとする声明を発表しましたが、米国が要求しているNAFTA加盟3カ国が継続で合意しない限り5年ごとに協定が自動的に失効する「サンセット条項」の導入や、「原産地原則」の厳格化など重要項目については合意に至りませんでした。次回会合は、来年1月にカナダで開催される予定ですが、米国の強硬な姿勢にカナダとメキシコから反発の声も聞かれ、協議は難航するとみられています。

【カナダ 金利推移】 (2017年10月27日～2017年11月24日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>